

# 2022年度 高大接続推進事業 活動報告

活動名 : 「自然史研究リーダー養成によるフィールド研究志向高校生のリクルート」

日時 : 令和4年11月12日(土)  
【実習】9:30~12:30  
【昼食・まとめ】12:30~14:30  
【移動(徒歩)】14:30~15:00

場所 : 【実習】屋島周辺(長崎の鼻~北嶺)  
【昼食・まとめ】屋島北嶺千間堂広場

講師 : 【地形・地質班】  
寺林 優(博物館長・創造工学部教授)  
野々村敦子(創造工学部教授)……生徒18, 教員5, TA2  
【昆虫班】伊藤文紀(博物館副館長・農学部教授)…生徒20, 教員3, TA4  
【樹木班】小宅由似(創造工学部助教)……生徒12, 教員1, TA2  
【草本班】篠原 渉(博物館副館長・教育学部准教授)…生徒12, 教員2, TA2

内容 : 【地形・地質班】  
露頭で岩石を観察し、走向傾斜の測定方法、地質と地形の関係を学ぶ。  
【昆虫班】  
アリ類を採集し、アリの同定(名前調べ)方法、アリ相の特徴を学ぶ。  
【樹木班】  
樹木や森林を観察し、樹木の見分け方、森林の階層構造や植生の特徴を学ぶ。  
【草本班】  
草本を観察し、見分け方、地質や地形および地理的分布の特徴を学ぶ。

参加校 : 高松東高等学校 生徒17名, 教員1名 香川大学 17名  
香川中央高等学校 生徒14名, 教員2名 教員5名(農1, 創造工3, 教育1)  
高松第一高等学校 生徒5名, 教員1名 ティーチングアシスタント10名  
高松高等学校 生徒5名, 教員3名 (農4, 創造工4, 教育2)  
高松高等学校(通信) 生徒5名, 教員1名 博物館職員2名  
丸亀城西高等学校 生徒1名, 教員1名  
丸亀高等学校 生徒6名, 教員1名  
観音寺第一高等学校 生徒9名, 教員1名  
計8校 生徒62名, 教員11名 計73名 合計90名

服装・持参物 : 活動しやすい服装(長袖, 長ズボン)、活動しやすい靴、軍手、帽子、タオル、筆記用具、昼食、飲み物、雨具(もしくは折畳傘)、マスク着用のこと



寺林講師から地形・地質について説明



ルーペで露頭を観察



何かを発見!



たまねぎ状風化



山中式土壌硬度計の操作



GPSで現在地の確認



傾斜の勾配を測定



野々村講師から高松平野について説明



伊藤講師から実習内容の説明



採集地点に移動



アリを採集中



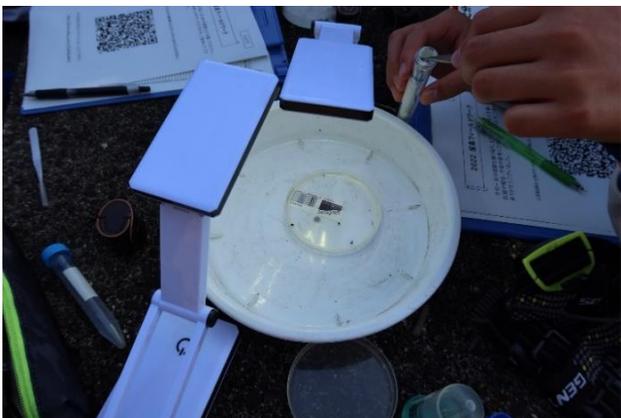
アリを採集中



指導を通しての大学生との交流



アリの同定を班別に作業



採集したアリ



まとめ・発表



小宅講師から実習内容の説明



調査プロット内の対象樹種をカウント



屋島の植生を観察



葉の形から樹種を同定



目盛検測竿での樹高測定



ナラ枯れについて説明



まとめ・発表



篠原講師から実習内容の説明



標本採取の仕方についての説明



観察の視点についての説明



シダ植物の特徴の説明



採集の仕方の指導



観察の視点を指導1



観察の視点を指導2



観察の視点を指導3

## 地形・地質班

- ・生まれ育った屋島の地学的観点での講義でさらに屋島のことを好きになった。
- ・斜面の傾斜、土壌の硬さ、地質の関係を、自然や専門的な道具に触れながら、考えることができ、とても良い経験になったし、楽しかったです。
- ・実際に歩いて触ってみたり、傾斜を測ったり、硬度を見たりすることで、花崗岩や安山岩で色や形、もろさなどが、全然違うことが分かりやすかったです。
- ・普段、学ぶことのできない地質について、学ぶことが出来て良かった。
- ・屋島の観光地は訪れたことはあったけど、長崎の鼻や、そこからの登山道、採掘後にできた洞窟などはなかなか訪れる機会がなかったので、とても貴重な経験をすることが出来ました。教科書の中でしか見た事のなかった様々な種類の岩石を実際に目で見る事が出来たのでとても嬉しかったです。

## 昆虫班

- ・フィールドワークに参加したのが、初めてでしたが昆虫採取などが楽しく新しい知識などが沢山つき、とても面白く貴重な体験が出来ました。
  - ・採集から自分で体験できたのでとても関心がわきました。学生の方々が質問や疑問にわかりやすく簡潔に答えてくださいました。
  - ・アリの種類の多さに、驚きました。日本にいるアリは200種類もあり、その中で香川県に106種類もいると知りました。アリにとって香川県は、とても住みやすいという事が分かり面白かったです。アリが生態系に、どんな影響を与えているのかも気になりました。とても楽しく良い経験になったので、今回は昆虫班として参加しましたが、次また機会があれば他の班としてでもこのフィールドワークを参加したいと思います。
  - ・実際に参加してみるまで、活動内容などの想像がつかなかったのですが、参加してみると、すごく楽しくて、また来年も参加したいと思いました。
- また、来年参加する時は違う班で活動したいと思いました。

## 樹木班

- ・普段行わなかった樹木の調査や植生について、様々に体験しながらグループで調査する楽しさを知れ、また、様々な知識が着いたので良かった。
  - ・学校で習った生態系と今回の調査が結びついてより深く知ることができました。
  - ・ナラ病の話は非常に興味深く、今この場で起きている問題として何か対策が必要だと思いました。また、地質形成や樹木の生存競争など授業では習わない(習っていない?)こともたくさん知ることができました。違う学校の人たちとの交流も一緒にできて、みんなが将来について真剣に考えていたり、同じように興味があって来た仲間だと思うと、なんだかこのつながりっていいなと感じました。
- 来年も機会があれば参加したいと思います。ありがとうございました。

## 草本班

- ・シダ植物のことは知らないことばかりだったので勉強になった。それぞれの特徴や分類方法を知ることができた。
  - ・先生の説明が分かりやすく聞き取りやすかったので混乱すること無く活動が出来ました。
  - ・あまり自分ではしないような体験ができて楽しかったです。ほかの学校の人との交流もできて有意義な時間になったとおもいます。
  - ・同じシダ植物でも、孢子嚢のつく場所や形が全然違って面白かった。
- 他校の生物部の活動を知ることができてよかったです。

## 地形・地質班

- ・専門の先生の話聞きながら現物の地層を見れるのはとても勉強になりました。
- ・屋島について今まで知らなかったことを知ることができて有意義な研修になりました。
- ・楽しかったです。生で見て、感じることは大事だと思います。できれば調査結果から何か考察を試みるのもいいのではないかと思います。

## 昆虫班

- ・身近なアリという生物について体験を通じて学ぶことが出来て感謝しています。生徒たちにとっても貴重な経験が出来たと思います。
- ・昆虫グループには初めて参加しましたが、意欲的に取り組みました。大学生の皆さんが丁寧に指導してくださり、和気あいあいとフィールドワークを楽しめて大変有意義な時間を過ごせました。
- ・一つの場所からさまざまな種が出てくるので、自分も珍しい種を見つけることができるかもしれないというワクワク感があり、生徒たちも意欲的に活動できていたと思う。時間の関係で同定はTAの方がやってくれたのだが、実際に顕微鏡を見ながら同定のポイントを探っていくのも楽しそうだった。

## 樹木班

- ・講習していただいた知識・技術をすぐにものにして、生徒が協力して樹木の種同定をしていく姿を見て、机上の学習だけでは得られないフィールドワークでの実体験はやはり素晴らしいものだと思います。景観も絶景で、学生さんや他校生とも交流を深めることができている、今後も続けていただければありがたいです。

## 草本班

- ・気候も快適でゆっくりと分類ができ、覚えながら取り組むことができました。生徒に案内するときに説明しやすくなりました。来年も参加したいと思います。

(原文のまま)

## 新型コロナウイルス感染防止について

- 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から国が示す「3つの密」を回避する対策や「新しい生活様式」における感染防止の3つの基本を徹底して実施
- 屋内(れいがん茶屋もしくは屋島少年自然の家)で実施していたまとめと発表を屋外で実施
- ・香川県から令和2年9月15日に発出された「催物(イベント等)の開催にあたっての留意事項について」に記載されている事項に留意して実施
  - ・公益社団法人日本環境フォーラム、NPO法人自然体験活動推進協議会、一般社団法人日本アウトドアネットワークの3団体が作成した「自然体験活動・自然教育・野外教育・環境教育を実施している事業者における新型コロナウイルス対応ガイドライン」に準じて実施
  - ・各校から現地間は、小型バスに相乗りして移動するが「貸切バスにおける新型コロナウイルス対応ガイドライン」では、換気性能をもとに、航空機、列車などと同様に座席の利用に関する制限は設けられていない。バス会社が新型コロナウイルス予防対策ガイドラインを作成していることを確認。バス会社独自で換気能力実証実験を実施(ただし大型バスのみ)独自に座席背もたれに飛沫防止シートを設置

